

報 告

◎桂宮宜仁親王殿下ご来所

◎第14回治山事業推進のための研究調整会議開催

◎桂宮宜仁親王殿下ご来所

大日本山林会総裁である桂宮宜仁親王殿下が、10月31日（木）に森林総合研究所本所をご視察されました。

主催者である小林富士雄大日本山林会会長（元森林総合研究所所長）をはじめ同会関係者、廣居森林総合研究所理事長らがお出迎えする中、9時40分に当所へご到着されました。

はじめに特別会議室で沢田海外研究領域長から「衛星による東南アジア森林火災監視システム」について説明を受けられ、次に生物多様性実験棟の木材標本室で藤井木材特性研究領域長、昆虫標本室で榎原チーム長の説明を受けられました。

また、機械化別棟で伐出機械3種類を井上林業機械研究領域長他から説明を受けられ、2両連結車両などの実演をご覧になりました。

この後、12時30分頃、当所をお発ちになりました。



桂宮親王殿下をお迎えする理事長及び関係者



桂宮殿下に説明する毛網主任研究官

◎第14回治山事業推進のための研究調整会議開催

去る11月13日（水）、当所において「第14回治山事業推進のための研究調整会議」が開催されました。この会議は、社会的ニーズに対応した治山事業の推進を図るため、林野庁（治山課、計画課、業務課、研究普及課）と森林総合研究所（水土保持研究領域、気象環境研究領域）が、それぞれの業務について「情報交換を行い、加えて森林の水土保持機能や環境保全機能に関する研究成果の受け渡しや行政要望課題の抽出などを行いました。



開会挨拶を述べる理事長